





大項目	時計
小項目	時計を読む
タイトル (教材名)	短針を合わせて、読んでみよう！
目的 身につけてほしい力	アナログ時計の短針を読むことができる。 文字盤を視覚的に捉えることができる。 目と手の協応を高める。
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<p>①インターネットで「幼児の学習素材館」を検索し、「時計の文字盤と針(3)」を無料ダウンロードして印刷する。(必要に応じて拡大する)</p> <p>②文字盤の円の中央からそれぞれの文字がさす目盛りに向かって放射状に線を引き、できた扇形の空間にそれぞれ違う色をぬりラミネートする。(写真①)</p> <p>③短針と長針を切り抜き、短針は児童生徒が持ちやすいようにマグネットシートなどを貼り付ける(何重にもすると持ちやすくなる)。(写真②)</p> <p>長針は「12」の位置に貼り付ける。(写真③)</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <span>写真①</span> <span>写真②</span> <span>写真③</span> </div>
教材の使用方法	<p><b>合わせる練習&amp;読む練習</b> 「3時」を読む練習であれば、短針を「3」のところに合わせる。黄緑色と緑色の境目の線に短針の先(鋭角)が合うように置く練習をする。(写真④)</p> <p>短針を合わせた後、「3時」と読む練習をする。</p> <p><b>読む練習のみ</b></p> <p><b>ステップ1:</b> 12のところに貼り付けてある長針をはずし、指導者が短針だけを境目の線や数字と数字の間に置いて、「何時」を読む練習をする。</p> <p><b>ステップ2:</b> 指導者が短針と長針を置き、「何時何分」を読む練習をする。</p>
	<div style="text-align: right;">  <p>写真④</p> </div>
その他	<p>※上記の使用 방법에慣れてきた場合は、色分けしていない通常の文字盤を使用して行うことにより、理解を深めていく。</p> <p>※参考 URL 「幼児の学習素材館」 <a href="http://happyililac.net">http://happyililac.net</a></p>